



去る11月15日、「第20回 TACC / JBA グランドミキサー」を開催した。当日はトランス商工会議所会員企業、JBA 会員企業から多数の参加者が来場し、会場は大いに賑わった(詳細はp.4-5)。

- 2 会長からの新年の挨拶
- 3 総領事からの新年の挨拶
- 4-5 「第20回 TACC / JBA グランドミキサー」開催
- 6-7 第215回JBAビジネスセミナー報告
「トランプ時代の中南米ビジネス ～政治経済の最新動向～」
- 8-9 あさひ学園高等部弁論大会 最優秀賞受賞弁論の発表
- 10-11 各部会からのお知らせ／新入会企業紹介
- 12 1月・2月のJBA イベントカレンダー

<http://www.jba.org>

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722



JBA 会長

おおかわ さとし
大川 智

新年、おめでとうございます。

旧年中は、例年同様に多くの皆様に様々な形でJBAの運営を担っていただき、また、多くの会員メンバーやご家族の皆様による各種イベントへの積極的なご参加を通じてJBA活動をサポートいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本国内では、企業や公的機関、大学といった組織で、社会的モラルが問われたり、地震や豪雨といった天災による被害に心痛めたりすることが多かった年でしたが、一方で、平昌五輪やサッカーW杯での日本勢の健闘や、大坂選手のテニス四大大会初優勝、更には当地での大谷選手の活躍等、日本の若者の海外での活躍に心踊り、勇気づけられた年でもありました。また、国際社会に目を転じますと、米朝首脳の上初の会談が実現するという画期的な出来事があった中で、米国大統領の自国第一主義路線が徹底され、経済面での米中対立が進み、中東やロシア、EUといった米国にとって大きな影響を持つ地域や国との向き合い方にも変化が生じている中、不透明感を抱いたまま、新しい年を迎えることになりました。そして斯様な状況において、我々日本人の在り方、立ち位置を未来に向けてどうすべきか、益々真剣に考える必要がある事を感じた年でもありました。

今年は現在の天皇陛下のご退位、新しい天皇陛下のご即位という大きな節目となる出来事を迎え、5月からは元号も新しくなります。日本にとって歴史の大きな転換点になる2019年ですが、先述のとおり、米国をはじめとする世界各国を取り巻く不透明感は拭きません。ただ、斯様な時にこそ、揺るがぬ軸と世界をリードする価値観や道徳観を持ち、世界の人々から認められている日本の実力を、更に世界に示す絶好のチャンスだと思います。それぞれの国が勝手に自国第一主義を唱え、大人度の低い世界に陥ってしまう前に、自他共に栄えていくために様々な角度から日本が世界をリードする、そんな動きを日本として示し得る年になることを信じています。

500社近い日系企業で構成されるJBAとしても、そのミッションである「日系企業の事業環境の整備・改善を図る」ことを常に念頭に置きながら、昨年開館したジャパン・ハウスとも協力し、当地における存在感を内外に十分に示すことを意識してまいります。そして、当地の政治・行政、経済諸団体、そして重要なパートナーである日系アメリカ人コミュニティとの関係を大切に、共に発展する事を目指しながら、更に新たなことに挑戦していく所存であります。どうぞ変わらぬご支援のほど、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、2019年が皆さまにとって素晴らしい年になることを心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。





在ロサンゼルス日本国総領事

ちば あきら
千葉 明

新年明けまして おめでとうございます。

旧年中は当館の業務に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。また、長年に渡り教育支援や雇用の創出によって、地域へ貢献いただいていることに対しましても、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

当地にて政財各界の方々と交流する中で、南カリフォルニアにおける日系企業への信頼の高さと地域経済への貢献を日々実感しているところであります。ロサンゼルス世界貿易センター（WTCLA）による昨年のFDIレポートでも、一昨年に続き日本が直接投資額第1位と報告されました。まさにJBA会員企業をはじめとする皆様方の尽力によるものであり、米国側に対してはこの実績を引き続き積極的にアピールしていく必要があると考えます。

昨年8月には、JBA会員企業様にも多大なるご支援を頂き、ジャパン・ハウスをハリウッド・ハイランドに開館いたしました。また、ジャパン・ハウスのレストラン「隠庵」も、11月にオープンしました。多くの方に日本への関心を持っていただき、全米そして世界に向けて、日本の魅力を発信していく場になればと願っております。新しい年をジャパン・ハウス飛躍の年とすべく、引き続き皆さまからのご支援を頂けますよう、お願い申し上げます。

当館といたしましても、ここ南カリフォルニアにおける日系企業のプレゼンスの向上に努めるとともに、ビジネス展開へのご支援に、本年も全力を挙げて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、会員企業各位の一層のご発展と、この新しい年が皆様にとりまして、実り多い素晴らしい年となることを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



商工部会

「第20回 TACC / JBA グランドミキサー」開催

去る11月15日、サンペドロの Los Angeles Maritime Museum で、「第20回 TACC / JBA グランドミキサー」を開催した。当日は総領事やトーランス市長、トーランス商工会議所 CEO、JBA 会長らに加え、トーランス商工会議所会員企業・団体、JBA 会員企業からも多数の参加者が来場し、会場は大いに賑わった。

トーランス商工会議所と JBA の会員企業が集う年に一度のミキサー

トーランス商工会議所の会員企業と JBA 会員企業の交流を目的に毎年開催している「TACC / JBA グランドミキサー」。夕暮れ時になると、サンペドロにある会場の Los Angeles Maritime Museum に続々と参加者が集合した。会が始まるとまず、トーランス商工会議所のプレジデント / CEO、ドナ・デュペロン氏が挨拶。本イベントは今年で20回目を迎えると説明し、この機会に、参加者には積極的にネットワークを広げてほしいと呼びかけた。

その後、Los Angeles Maritime Museum のディレクターを務めるマリフランセス・トリヴェッリ氏が、同ミュージアムがトーランス商工会議所の新しい会員になったことを報告。また JBA との長年にわたる親交にも触れた。「当館が、20年の節目となるグランドミキサーの開催場所となったことを光栄に思います。日系人と当館の縁は深く、このたび2階に新しく『TAMINARU ～A

Day in the Life of Japanese American Fishing Village ～』という展示コーナーを設けました。これは、第2次世界大戦中に多くの日系人が住んでいたロサンゼルス港ターミナルアイランドについての展示で、実現するにあたり、JBA には多大なサポートを頂きました」と話し、感謝を述べた。

続いて、トーランス商工会議所のボード・ディレクター、ジョン・ヘファナン氏が、同商工会議所の活動を説明。多彩なプログラムやアクティビティーなどを通じて、サウスベイ・コミュニティーのビジネス発展に尽力している旨を語った。

次に、大川智 JBA 会長が登場し、トーランス商工会議所をはじめ、トーランス市長、Los Angeles Maritime Museum、そして来賓の千葉明総領事に謝辞を述べた後、トーランス市は、南カリフォルニアにおいて日系企業および在米邦人にとって重要な市であると明言。「ビジネスを展開してい

く上で、空路・海路共に利便性が高く、気候も良い。さらに教育水準が高く、日系レストランなども多いトーランス市は、日系企業が成長する素晴らしい環境が整っている地です」と述べた。また、今年で創立58年を迎える JBA は、全米において最も大きく成長している日系ビジネス団体の一つ。現在、約450社が所属しており、これまで南カリフォルニアの各地域でビジネスの成長と発展に貢献し、同時に多くのビジネスリーダーたちにネットワークの場を提供してきたと説明した。さらに、JBA と JETRO (日本貿易振興機構) ロサンゼルス事務所が行った「南カリフォルニア日系企業実態調査2018」で、日系企業は推計約12万人の雇用を創出しており、地域経済と日系企業の両方にとって Win-Win の関係を築いていると解説。そして、「2020年の東京オリンピック、2028年のロサンゼルスオリンピックを控える中、今後はより一層、日



上段左から、トーランス商工会議所プレジデント / CEO のドナ・デュペロン氏、Los Angeles Maritime Museum のディレクターを務めるマリフランセス・トリヴェッリ氏、トーランス商工会議所ボード・ディレクターのジョン・ヘファナン氏。下段左から大川智 JBA 会長、千葉明在ロサンゼルス日本国総領事、パトリック・ヒューレイ・トーランス市長。



401(k)のお手伝い、致します。

Voya Financial提供の401(k)プランを導入いただくと、
JBAメンバーの皆様にはサービスフィーを特別料金にてご提供できます。
また、既にVoya Financialの401(k)プランを導入されている企業の皆様も、
サービスフィーを調整することが可能です。
興味のある方はぜひ、弊社までご連絡ください。

LPL Financial

Miho Hatori CPFA 羽鳥美保 Financial Advisor
CA Lic #0F51975

www.assetplanandprotect.com
949-877-3505 teamhatori@lpl.com

VOYA
FINANCIAL

Securities and advisory services offered through LPL Financial, a registered investment advisor. Member FINRA/SIPC.
LPL Financial and Voya Financial are separate, non-affiliated entities.

系企業と南カリフォルニア地域企業の相互経済成長が期待されます」と結んだ。

南加経済と日系企業の強固な関係。 これからの20年にも期待

続いて、千葉明在ロサンゼルス日本国総領事が壇上に立った。まずJBAとトーランス商工会議所の20周年記念の祝辞を述べた後、「アメリカと日本の強いビジネス上の絆を語る上で、日本と南カリフォルニアとの関係は非常に意義深い」とし、「1950～60年代より、南カリフォルニアに拠点を構える日系企業は、同地の投資や雇用の面で大きな貢献を果たしている」と語った。そしてさらに、「ご存じの方も多いと思いますが、2018年、南カリフォルニアにおける海外直接投資で、日本は企業数約2500社、直接雇用数約8万5000人、推定賃金総額約53億ドルで第1位となっています」(WTCLA「Foreign Direct Investment in Southern California 2018」より)と、同地経済における日本の存在感を強調した。また、千葉総領事は、今年ハリウッド&ハイランド内に設立されたジャパン・ハウスについても触れた。外務省が世界3都市に設立したジャパン・ハウスは、日本の技術やイノベーション、アート、デザイン、技術などを紹介する対外発信拠点であるほ



20周年を記念して行われた鏡開き。掛け声とともに木槌が振り下ろされた。

か、多目的スペースを設けており、レンタルスペースとしての利用も可能と説明。さらに、近々同施設内にレストランがオープンする予定だと語った(2018年12月現在、既にオープン)。

次に、パトリック・ヒューレイ・トーランス市長が登場。トーランス市における日系企業の貢献について感謝の意を述べた後、ロサンゼルス港と日米間ビジネスの関係について触れた。「ここ Los Angeles Maritime Museumからは、日米の貿易拠点として機能してきたロサンゼルス港が一望できます。本日、我々にとってもゆかりのあるこの場所にJBAとトーランス商工会議所の会員が一堂に会し、記念すべき20周年を祝えることを非常にうれしく思います。今後20年も同様に良い関係を築けていけることを心から祈っています」と語った。

最後に、本イベント20回目を記念する鏡開きが行われ、八重垣酒造寄贈による樽酒が登場。総領事やトーランス市長ら、登壇者全員が掛け声とともに威勢よく木槌を振り下ろした。その後、参加者に日本酒が振る舞われ、乾杯が終わると、参加者たちはレセプション会場に移動。トーランス市のRed Car Breweryより飲み物や、パフェ形式の料理を楽しみながら、親睦を深め合った。



年に一度の機会とあって、多くの参加者で賑わった。各々、料理を楽しみながら談笑を楽しんでいた。

参加者の声

(皆さんのお名前は左から)



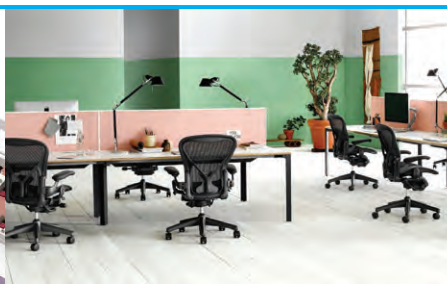
「初めて参加しました。これを機に日系企業との縁ができるといいと思います」(Intuitive Touchのエリックさん)、「日系企業はとても結びつきの強いコミュニティだと思います。今日はJBA会長や千葉総領事にもお会いできてよかったです」(Torrance Police Foundationのエリザベスさん)。



「JBAのミキサーにはいつも参加していますが、今回はいつもと違う雰囲気です」(Key Internationalのハンナさん)、「トーランス市のローカル企業へのアプローチをメインにネットワークを広げたいです」(transcosmos Americaの松尾さん)。



「新たな出会いとおいしい料理を楽しんでいます。日本酒は最高だね」(Tom Monson Insuranceのトムさん)、「トーランス商工会議所の会員も参加されているので、新しいネットワークを広げる良い機会となりました」(Office Sekkeiの小畑さん)、「弟が東京に住んでおり、日本に行ったこともあるので日本には親近感がありますね」(Law Office of Tony Sabalaの外トニーさん)。



オフィスの移転・改装は「オフィス設計」

- 設計・レイアウトデザイン
- 各種内装工事
- オフィス家具
- 電話・LAN・セキュリティー
- 引越・移転作業
- プロジェクトマネジメント
- コストマネジメント



Office Sekkei America, Inc.

(310) 715-1001 ✉ la@officesekkei.com
www.officesekkei.com/us

トランプ時代の中南米ビジネス ～政治経済の最新動向～

去る11月16日、トランスのMiyako Hybrid Hotelで第215回JBAビジネスセミナーを開催した。今回のセミナー講師は、TWI Global Businessの水野亮さん。中南米リサーチャー&コンサルタントの観点から、各国の政治経済動向、トランプ政権の政策の影響、アメリカからの中南米ビジネスについて解説した。

【講師】

水野亮さん

TWI グローバルビジネスエグゼクティブ・リサーチャー／コンサルタント。アメリカ、ブラジル、タイなどで駐在経験があるほか、日本貿易振興機構（ジェトロ）在動中に、中南米・アメリカ市場や通商政策などに関する調査業務に従事。中南米・アメリカ地域に幅広い人脈を有する。



中南米主要7カ国の政治経済

ASEAN10カ国とインドを合わせたくらいの経済規模を持つ中南米地域は、太平洋同盟（メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ）とメルコスール（ベネズエラ、ブラジル、アルゼンチン）に大別される。太平洋同盟は、多くの国とFTA（自由貿易協定）を締結する自由貿易国の集まり。一方のメルコスールは域内の貿易が盛んである。水野さんによると、一般的に中南米の経済はアメリカと結びつきが強く、アメリカ経済の動向に左右されやすい。また、鉱物資源の国際価格や輸出量による影響も大きく、こちらも経済を見通す上で重要な指標となっている。中南米最大の経済規模を誇るブラジル市場の動きも重要だ。ブラジルは歴史的な景気後退に陥っていたが、2017年には上向きとなり、2019年の実質GDP成長率

は2.4%と予想されている。「実際、ブラジルに足並みを合わせるように、中南米全体の実質GDP成長率は17年の1.3%から、18年1.2%、19年2.2%とゆっくり上昇しています（18年および19年は見通し）」と水野さんは説明している。

次に、今後の中南米を語る上でのキーポイントとして、18年に行われたメキシコ、コロンビア、ベネズエラ、チリ、ブラジルなどの大統領選挙を挙げ、各国共に大きな転換期を迎えていると解説。「国民の政治に対する不信感が頂点に達したのです。メキシコでは支配的な政党に代わり左派モレノ党からポピュリストのオブラドール氏が当選し、ブラジルでは政治腐敗徹底排除の期待から、極右派のボルソナーロ氏（19年1月就任予定）が選出されました。政治腐敗や治安の悪化に不満を募らせた国民がエスタブリッシュメントに“No”を突きつけた結果です」と水野さん。「新大統領の顔ぶれを見ると、メキシコを除き、今後の政策において共通するのは財政の引き締め強化でしょう。そしてビジネス推進を目指す方向に向かっていけると言えます」。

続いて、太平洋同盟とメルコスールのそれぞれの政治経済展望に言及。太平洋同盟では全体的に堅調な経済成長が予測されているが、メキシコだけはオブラドール新政権による首都空港建設やエネルギー事業の見直し、財政運営の方向性が未知数な点が懸念材料と解説した。一方のメルコスールは、景気後退が心配されているアルゼンチンを筆頭に、国営石油会社PDVSAの債務問題を抱えるベネズエラ、極右派政権が誕生したブラジルにも不安な面が見られる。ただし、伝統的に嫌米で知られるブラジルでは、トランプ大統領崇拝を公言するボルソナーロ氏が当選したことで、トランプ大統領が提案しているアメリカとのFTA交渉が立ち上がる可能性が高まるなど、今後の二国間の関係に注目が集まっているという。

米中貿易摩擦は中南米にとってメリット

次に、水野さんは、アメリカと中南米の経済関係に大きな影響を与えているトランプ大統領の政策を紹介。対キューバ関係、TPP協定（環太平洋パートナーシップ）脱退など、すでに実施した政策に触れた後、NAFTA（北米自由貿易協定）に代わる新貿易協定、USMCA（アメリカ・メキシコ・カナダ協定）について説明した。「基本的に自動車分野のルール改訂に尽きます。大

きく変わったのは原産地規則で、これまで62.5%だった完成車の域内調達比率の下限が75%に引き上げられます」。現在、メキシコに進出している日系自動車メーカーは比較的多くの部品や原料を日本や中国などから調達しており、このままでは75%ルールを順守できないため、今後はアジア産の輸入から域内調達への切り替えを余儀なくされると解説。ただしメリットも大きく、USMCA発効後、メキシコとカナダは、アメリカが現在検討している自動車関税引き上げ措置からの除外を担保される。従って実際に関税が引き上げれば投資先としてのメリットが格段に上がることになる。

水野さんによると、USMCAは18年9月に暫定合意し、11月30日の署名に向けて進んでいるが（18年11月16日現在）、議会承認手続きは19年以降に始まる見通しだ。「11月のアメリカの中間選挙で下院議会で民主党が圧勝し、多数党を奪還しました。これによりUSMCAの発効に影響が出ると言われています。トランプ政権と対立している民主党はこれまでの『恨み』から簡単にUSMCA実施法案を通さない可能性があります。これに対してトランプ大統領は米国のNAFTA脱退をチラつかせるなどの手段に出る可能性もあり、対立が深まるリスクがあります」。

トランプ大統領は今年1月に全世界からの太陽光パネルや家庭用洗濯機の輸入に対して関税を引き上げ、さらにその後、鉄鋼・アルミ製品にもそれぞれ25%および10%の追加関税を発動した。自動車・自動車部品の追加関税措置についても調査中だという。これらの通商政策の影響は甚大で、世界各国との貿易摩擦は激化する一方だ。これを受け、アメリカ国内の輸入企業は、製造・調達先の変更や、タリフエンジニアリング、製品別適用除外などで節税しようと必死だ。また、メキシコとの間でUSMCAに合意したことで通商や移民問題、国境の壁問題を巡るメキシコ「イジメ」はひと段落し、今では矛先を中国に向けていると解説。それを裏付けるように、中国に対してはセクション301条に基づいて、これまでに3段階の追加関税引き上げ措置を実施しており、さらに2670億ドル相当の輸入品へも追加関税を検討しているという。「対中関税措置は、既存の法律の下、トランプ大統領の権限で行っていますが、この件に関してはむしろ民主党も同意しています。おまけに中国に脅威を抱く国民も多いので、これから大統領再選に向け

て、世間に強いアメリカをアピールしたいところ。しばらくは中国いじめが続くでしょう」と水野さんは分析している。

こうした米中貿易摩擦の中南米への影響について、水野さんは、金融の不安定化や経済の停滞、輸入調達先の変更などを示唆。しかし、アメリカと中国は中南米から資源や製造品を輸入しており、同2カ国間の関税引き上げで、一時的にメキシコ、ブラジル、アルゼンチンには需要が生まれるというメリットがあるという。「例えば、ブラジルは、アメリカの鉄鋼輸入に対する追加関税によって鉄鋼が、そして中国のアメリカに対する追加関税によって大豆の輸出が大きく伸びています。国連機関が出した試算によれば、米中貿易摩擦と両国報復措置により、中南米は対中輸出が5.2%も増加する見通しです」。

中南米の「ゲートウェイ」アメリカを利用

最後に、水野さんは、日系企業と中南米諸国間のビジネスについて解説し、中南米のゲートウェイとして、アメリカのインフラやリソースを利用することを提案した。「日本と中南米では地理的距離や時差、異なる文化や言語、情報の欠如など多くの壁がありますが、アメリカから中南米諸国にアプローチすれば、その多くを解消することができます。例えばロサンゼルスからメキシコや中南米各都市は、飛行機で4時間程度。マイアミからの中南米諸国への就航便は多く、日帰り出張できるほどです。日本からは遠く開拓が困難な中南米も、アメリカからであればハードルが低くなるというのだ。アメリカ企業が中南米にアプローチする際は、本社からに加えて、中南米ビジネスに適したマイアミ、ニューヨーク、ヒューストン、アトランタなどの都市に専用の拠点を構えるケースが多いようだ。例

えばマイアミには中南米諸国の総領事館や商工会議所、法律事務所、コンサルティング、マーケットリサーチ、メディアなどが豊富にあり、ビジネスサポートが万全。また、2050年には、アメリカ人の3人に1人がヒスパニック系になる。言語や文化に精通したヒスパニック系従業員の雇用により、企業が抱える問題が解決し、中南米市場へのアプローチが容易となる。「ヒスパニック系と言っても、カリフォルニアはメキシコ系が主流ですが、マイアミにはキューバやブラジル、コロンビア系などが多く、非常に多様です。ですから、マイアミではターゲットの国に合わせた人材を雇っている企業も少なくありません」。

アメリカから中南米にアプローチするメリットはほかにもある。アメリカは多くの中南米諸国とFTAを結んでおり、例えば、2012年発効のアメリカーコロンビアFTAで、コロンビアは、アメリカからの輸入に対する関税をほぼ100%撤廃。加えて、コロンビアには代理店保護法(売り主が代理店との契約を一方向的に終了する場合に補償義務が生じる代理店保護条項)があるが、これもFTAによって在米日系企業含むアメリカ企業に対しては不適用。日本企業にとっては、関税のみならず、サービスや投資など幅広く相手国に自由化を求めるアメリカは、中南米でのビジネスの大きな足掛かりになるというわけだ。

現在、日系企業の中南米諸国への進出の流れは、日本の本社から直接またはアメリカ現地法人からというのがメインである。例えば、メキシコでのビジネスは、アメリカ現地法人が関わっている場合が多い。同様にアメリカからのアプローチが見られるコロンビアでは、治安改善や中間所得層が拡大したことを受け、日本企業の再進出や新企業の進出が増えている。医療機器、



セミナーでは、アメリカを拠点にした中南米ビジネス戦略についても詳しく語られ、参加者は熱心に聞き入っていた。

金融、物流、食品、ヘルスケアなど分野も幅広く、製造工場やコールセンターも増えているという。一方、ブラジルへの投資は日ブラジル租税協定や投資額自体が高額となる場合が多い理由で日本からが多いが、取り引き自体はアメリカからの場合も少なくない。ブラジルから中南米諸国にアプローチする場合もあるが、情報が少ないことや、アルゼンチンとの対立問題など、さまざまな理由から不便であり、過去には拠点をブラジルからアメリカに戻した企業もあるとか。

最後に、太平洋同盟の中でも、特にチリやペルーは、日本以外の多くのアジア諸国とFTAを締結しているが、それを知らずに関税を支払っている企業や業者もいるため、FTA交渉・締結・発効状況には常に目を配る必要があると水野さんは指摘。また、アメリカが脱退したTPP11も、これからイギリスや韓国、タイ、インドネシアなどが参加候補国として挙がっており、今後貿易フレームが大きくなることが予想されるという。「次期大統領の政策によっては、アメリカがTPPに再加入することも考えられ、そうなれば中南米を含め、将来的にEUと同等、あるいはそれ以上の巨大なサプライチェーンになるかもしれません。日本企業にとっても、大きなメリットをもたらす可能性があります」と結んだ。

事務職は勤務時間の20%をかけて「情報」を探している。

年収\$50,000の社員であれば、
「あのファイル、あのEメール、どこいった」
に毎年\$10,000!

ファイルとメールが中心の業務、
そろそろやめませんか。



kintone

<https://www.kintone.com/jp>

あさひ学園高等部弁論大会 最優秀賞受賞弁論の発表

あさひ学園高等部は、去る11月10日、17日に弁論大会を行い、54名の高校生が多く聴衆の前で個性豊かな弁論を繰り広げた。各校で入賞した生徒にはJBAよりトロフィーが贈呈されたほか、参加生徒全員に参加賞としてギフトカードが贈呈された。それぞれの大会で最優秀賞に選ばれた生徒の弁論を紹介する。

●オレンジ校最優秀賞 「諦める勇氣」

オレンジ校高等部2年・吉房星太さん

諦めなければ必ず夢は叶う。残念ながらこんなのは漫画だけの話です。テレビや新聞で取り上げられる美談はどれも夢を諦めずに叶えた人々への賞賛ばかり。しかし、この弱肉強食の世界において、実際に夢を叶えられる人間はほんの一握りに過ぎません。逆に、ものすごい努力を積んできたにもかかわらず夢を叶えられず、途中で諦めてしまった人は数えきれないほどいます。では、望む結果を得られなければ、その人の努力は全て無駄になってしまうのでしょうか？ これもまた違うと思います。どんな形であれ、この世に報われない努力はないと私は信じています。

水泳選手になってオリンピックで活躍する。これが当時5歳で北島康介選手の泳ぎを見た私が抱いた夢でした。サインをもらう時、私は思い切って聞きました。「僕もいつかあなたみたいになれるますか？」と。彼はこう返しました。「頑張れば必ずなれるよ」。まだ幼かった私はこの言葉を鵜呑みにしてしまいました。初めの頃は練習で頑張れば頑張るほどタイムも伸びていき、水泳が楽しくて仕方ありませんでした。ところが、3年ほど前から急にタイムも伸びが悪くなってしまいました。「練習量が足りないんだ」。そう思い、前よりいっそう練習に励みました。しかし、やはり学年が上がるにつれて勉強とスポーツの両立は難しくなっています。実際、私の周りにも、それが原因でスポーツを諦めた人は何人もいました。途中で諦めるなんて…。俺はそうはならな



オレンジ校で最優秀賞を取った、吉房星太さん。

い！ そう思っていました。高校に入ってから宿題や成績よりも水泳を優先させました。毎朝5時に起き、学校が始まる前に1時間、放課後また2、3時間泳ぎ、その後さらに筋トレしました。これでもまだ足りないと考えた私は、練習が終わった後も一人で居残り練習を続けました。「こんなスランプは一時的だ。努力を続けていればいつかまたタイムも伸びる」。そう信じ込んでいたのです。しかし、どんなに頑張ってもタイムは伸びません。それどころか、ろくに練習に来ない人、水泳を始めて1年足らずの人にも負け始めました。私はまるで、自分だけが必死に足踏みしている間に後ろにいたはずの人たちがさっそうと私を追い抜いていくような感覚に襲われました。「今までの努力は一体何だったのか?」。ひたすら自問自答する葛藤の日々が続きました。この頃の私にとって、あれほど楽しかった水泳はもはや楽しいものではなく、ただただタイムと目の前の勝利への執着となっていたのです。そして迎えたシーズン最後の大会。過酷な練習の末、万全な状態で挑んだつもりでした。が、結果は惨敗。その瞬間、私の中で何かが崩れ落ち、私は水泳をやめました。人生初めての挫折でした。

水泳をやめることによって私の時間には大きな穴が空きました。何もかもどうでもよくなった私はしばらく現実逃避するかのようになりネットゲームやアニメに没頭し、携帯電話の画面を四六時中見つめるだけの生活を過ごしていました。そんな呆れた私を見てある日、母が私にこう言いました。「たしかに、世の中は平等とは言えないのかもしれない。でもね、時間だけはみんなに平等な

んだよ。貧しい人も裕福な人も、世界中どの国にいても、みんな1日24時間しかない。その限られた時間をどう使うのかはあなた次第なんだよ」。私は、母の言葉を受け、私にできることを考えてみました。得意な数学や理科を極めるか。幼い頃から続けてきたバイオリンの上達に専念するか。小倉百人一首を極めるか。いろいろと模索する中、私はようやくやりたいことに出会いました。それがテニスです。母の言葉は私に水泳以外の扉が存在するというのを教えてくれました。水泳で得た体幹が腕だけでなく体全体をうまく使うプレイに、水泳で培った持久力がテニスの長期戦におけるスタミナ維持に、水泳で鍛えられたメンタルが試合中での冷静な判断につながっているようです。そうです。水泳での努力は決して無駄ではなかった。そう気付いた時、私は本当の意味で水泳を「諦める」ことができました。

人生は甘くはありません。実際、うまくいくことよりもうまくいかないことのほうが断然多いです。そんな世の中で、諦めは時に必要なものなのかもしれません。しかし、諦めるだけなら簡単です。大切なのは、何かを捨てた後、空いたその両手で新しいものを拾う勇氣を持つことなのです。逆に言えば、この「諦める勇氣」を振り絞ることによって人は初めて自分にとって新しい扉を開拓できるのです。歴史的観点からも似たようなことが言えます。数々の失敗、敗北、挫折、諦めを経験し、方向転換しつつ、過去から学んだことを次に活かす。この繰り返しによって歴史的偉人たちは偉業を成し遂げ、我々の社会の発展に貢献してくれたのです。もしかすると、一見夢を途中で投げ出した人たちの行為の裏には賞賛されるべき「諦める勇氣」が存在していたのかもしれない。



オレンジ校の参加者全員で記念撮影!

皆さんも将来、思うような結果が出ず、「こんな頑張ったのにどうして?」と思うような挫折をするかもしれません。そんなときでも扉は1つではない。周りをよく見てください。私たちにきっと無限の扉が存在します。どんなに不平等な世界でも、時間だけはみんなに平等なのです。その限られた1日24時間をどう使い、どの扉を開くのかは私たち次第なのです。ご清聴ありがとうございました。

●トランス校最優秀賞

「今必要なことを探し求めて一感謝を知った」

トランス校高等部2年・水溜真乃介さん

今できること、今しなくてはいけないこと、私は何がしたいのか、何ができるのか、私には何が必要なのか。時々このようなことを考えることがあります。人によりこれらの答えは全く違うものになることでしょう。年齢、性別、自分の置かれている状況等から、それぞれに最も見合う答えが出るはずだからです。

私たちの人生は、おおよそ2つのことの繰り返しで成り立っています。それは、何かをするか、または、しないかの2つの選択です。これらの選択の繰り返しで私たちは人生に起承転結を刻みます。ここでさらに覚えておきたいのは、その「する」と「しない」を決めるのは私たち一人一人の自由、一人一人の決断だということです。悔いのない人生を送る、というのはよく聞く言葉ですが私はそれは不可能だと思います。どれだけ充実した日々を送ろうと、自分の人生を振り返ってみれば「もしあの時あえていたら」「もしあの時こうしていれば」などの「たられば」が残るはず。では、私たちはどのような人生を送ればいいのか。「たられば」をなくすためには何が必要なのでしょうか。私が出した答えは、自分自身が人から必要とされる人間になって、他人に「ありがとう」と言える人になるということです。

私は、人をあまり信用することができません。人を頼るといってもあまりできません。なぜなら自分でなんとかできるとしてしまうからです。そのためストレスやいらいらが溜まりやすい性格でもあります。そのくせよく嫉妬する性格で、友だちと数人で遊んでいても、時折、「私はなんでここにいるんだろう、別に私がいなくてもみんなは楽しく遊べるんじゃないか」などと常に考えてしまい、やり場のない嫉妬心を感じることもさえます。心配性で不安になりやす



トランス校の最優秀賞受賞者、水溜真乃介さん。

く、家族、友達などと連絡が少しでも取れなくなるとすぐに何かあったのではないかと心配になってしまいます。いつも自分のことより周りに意識がいつてしまっているような気がします。

そんな私は去年の冬、いろいろなことが重なり、今まで溜まっていたものが爆発し、クリスマス日に家出をしました。何日も家に帰らなかったというのではなく、早朝家を出て夜には帰ってくるというスケールの小さいものではありませんでしたが、とにかくその時の私はただひたすら一人になりたかったのを覚えています。親には手紙だけ残して連絡はせず、友達への連絡も途中からやめました。家出をしているときはそのまままだ冬の寒空の下、ひたすら一人で時間だけ過ぎるのを待ち、気持ちが落ち着いてきたのを確かめてから家に帰りました。

抜け殻になったかのような1日を過ごした私は、いつも学校から帰ってくる時のように何気なく家に入ると、クリスマスなのに部屋がとても静かなのを感じました。なぜならいつもは冗談を言ったり笑ったりといううるさい母親がおらず、ただ小学生の妹がソファで座っていただけだったからです。母親がいないことを不思議に思いつつリビングの絨毯に座ると、「ママならシンを探しに行ったよ」と妹から言われました。

そのほんの数分後、母親が静かに泣きながら家に帰ってきました。その時初めて私は、必要とされていると感じました。携帯の電源を入れると友達からも不在着信やメッセージがいくつも入っており、私を心配してくれる人がたくさんいるということを身をもって感じました。家出中は

泣かなかったのに、家に帰ってきた私は、周りから大切に思われているということを知り、初めて涙を流しました。そしてそれと同時に、人に必要とされ、大切に思ってもらえることがどれだけ心の支えになるかを知りました。

たしかに、人から必要とされることだけが心の支えになるわけではありません。例えば自分の好きなミュージシャンやアーティスト、俳優、趣味、特技など自分の心の支えになってくれるものはたくさんあります。しかし、これらは自分が一方的に好きになり必要としているだけで、これでは「たられば」が残ってしまいます。もし、その自分の好きなアーティストや俳優が解散や引退をしたとすれば、あるいは自分が怪我をして趣味や特技が続けられなくなったとすれば、今までの心の支えがなくなってしまうわけです。それに対し、現実の生活の中でお互いに必要とし合える関係というのはそう簡単には崩れません。誰かを必要として、誰かに必要とされたとき、相手に「ありがとう」と言えることでさらなる「たられば」の残らない確信ある人生に近づくことと思います。

私たちは必ず一人一人どこか欠けていて完璧な人間は当然いませんし、悔いのない人生を送っている人は少ないでしょう。まるでパズルの凹凸のように長所と短所がある私たちは、互いを必要とすることによってお互いの短所をお互いの持つ長所で埋め、補い合うことができると思います。そうなることによって、自分の身の回りの人たちがみなかけがえのない存在になっていきます。だから私は、私を必要としてくれて、自分の短所を埋めてくれた家族や友達に、言いたいことがあります。「ありがとう」。それこそが今の私に必要な探し求めていた答えであると確信しました。ご清聴ありがとうございました。



トランス校の参加者全員で記念撮影!

各部会からのお知らせ

ダウンタウン地域部会

カレッジフットボール観戦に参加しての感想文

文：Manufacturers Bank・平野正浩さん

11月17日(土)、パサデナのRose Bowl Stadiumで開催された、USC対UCLAのフットボール試合観戦に家族で参加しました。

当日は快晴で、スタジアム周辺のゴルフコースを利用した広大な駐車場では、USC、UCLAの学生またはOB・OGが中心と思われる大勢の人々が、それぞれ数人から十数人のグループでバーベキュー等を行い、試合開始までの時間を楽しんでいました。会場案内に「駐車場



応援席は大勢の観衆でいっぱい!



白熱の試合は見応え十分でした!

オープン(試合開始6時間前)と記載してありましたが、おそらくこれもカレッジフットボールの楽しみ方の1つなのでしょう。OB・OG等もこんな感じで集まれるのはたしかにいいですね。

スタジアム内に入ると、緑の芝生に映える選手達の雄姿もさることながら、両校のマーチングバンドの華やかな演奏、そのリズムに合わせたチアリーダーたちの躍動、USCの赤あるいはUCLAの青をまとったファンの応援、歓声等、その鮮やかな光景と音響に包まれました!

やはりこの雰囲気はスタジアムならではの。席はUSC側でしたが、ホームのUCLAファンも多く、かえて両方の応援やプレーへのリアクション等を楽しめました。妻と娘はUCLAの青いボンボンをもらい、応援の振り付けや掛け声に参加し、盛り上がりを楽しんでいました。

でいました。

試合は、逆転に次ぐ逆転で、見応えのある内容でした。大歓声の第4クォーターの末、27対34でUCLAの勝利となりましたが、試合終了まで目の離せない好ゲームで、米国のカレッジフットボールを満喫した1日となりました。機会があれば、また家族でスタジアムに足を運びたいと思います。

サウスベイ地域部会

「ワインを楽しむ初級講座」に参加しての感想文

文：Calty Design Research, Inc.・田嶋さん

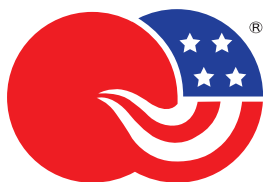
11月29日(木)、「ワインを楽しむ初級講座」に参加しました。当日はあいにくの雨で、また平日夜ということもあり、少し不安な気分でもトランスへ向かいましたが、会場のParadise LA Restaurantには既に多くの方が来られており、JBAイベントの熱気の高さが窺い知れました。

当日は会社の友人と2人で参加しましたが、席はくじ引きのランダム式で、互いに離れたテーブルに着席しました。そして最終的に各テーブルには4~6人が座り、セミナーがスタート。シャンパンでの乾杯から始まりました。



多くの参加者で賑わった会場風景。

北川 & イベート法律事務所



KITAGAWA & EBERT, P.C.
(949)788-9980 日本語でどうぞ。
www.JAPANUSLAW.COM

With Lawyers Licensed in Multiple States Including
CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • U.S. PATENT • WASHINGTON DC
 北川・イベート両弁護士ともにMartindale-Hubbell Peer Reviewにおいて“AV PREEMINENT”(法的能力・道徳性)評価

WALL STREET JOURNAL, Chicago Tribune, Los Angeles Times 弊社勝訴が各誌にて紹介

必勝・難題解決のプロ・良心的

- 訴訟・仲裁・裁判・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・RIF
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設・売買
- 税務争訟・遺産・相続

北川 リサ 美智子 弁護士

京都大学法学修士
 東京大学法学研修
 連邦最高裁判所認可弁護士

CALIFORNIA, TEXAS, NEW YORK, GEORGIA
 (MAIN) 300 SPECTRUM CENTER DR. SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998
 (TEXAS) (BY APPT.) 5851 LEGACY CIRCLE, 6TH FL., PLANO, TX 75024



レイチェル先生と筆者(左)で記念撮影。

セミナーはレイチェル先生のご教授のもと、テーブルマナーからワインの選び方、家での飲み方のオススメ等を教えて頂きました。ピノノワール、カベルネ・ソーヴィニヨン、シラー等、名前は聞いたことがあっても、実際の違いまでは分からなかったものが、それぞれのブドウに合う料理や合わない料理があること、そしてたとえ良いワインであっても食事の内容やタイミングで良くも悪くもなってしまうこと等、多くの実践的なポイントを教えて頂きました。

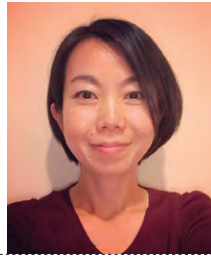
各テーブルにはチーズやフルーツ、クラッカー、フライなど、プレート料理も複数運ばれ、ワインと一緒に楽しめました。また、レイチェル先生も説明の合間に各テーブルを回りながら個別の質問にも対応して下さるなど、とてもきめ細かい対応をして下さいました。また、同じテーブルの方々とも話が盛り上がり、楽しくワインを味わえました。席がくじりき式だったため、複数人で参加の方も皆さん別れて座る形でしたが、結果的に多くの方と親睦を図る良いキッカケになりました。

今回の講座は初級編でしたが、また機会があれば、さらに上のステップにも挑戦してみたいと思います。ご教授頂きましたレイチェル先生、また運営スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

新入会企業紹介

日系企業様と交流や情報交換をさせていただきたく入会致しました。また、アメリカでのレンタル&資産マネジメントのニーズをサポートさせて頂きたいと考えております。

川端美也子さん



01

ORIX Rentec Corporation (ORIX Rentec USA)

DATA

住所：2300 E. Katella Ave., Suite 335, Anaheim, CA 92806
 ☎ 214-237-2281
 Web：www.orixrentec.jp/index.html
 責任者：川端美也子 (Vice President)
 従業員数：4人
 他の営業拠点：東京本社（および日本国内主要都市）、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ

ORIX Rentec USA は、日本初の測定器レンタル会社であるオリックス・レントック（株）の米国事務所で、レンタル終了後の各種測定器、IT機器、分析機器の中古販売が主なビジネス。また、日系企業の米国拠点でのレンタルに際してのサポートも行っている。レンタル機器のラインナップは顧客のニーズに応じて拡大しており、現在では、ロボット、ドローン、3D プリンターの取り扱いも行っている。20 年超にわたって培った中古品販売のネットワークを活用し、移転等に伴う不要資産の買い取りニーズにも対応している。

これまでは、北カリフォルニアを中心に日系企業との交流を行っていましたが、JBAの活動を通じて、南カリフォルニアの日系企業とも交流や情報交換も積極的に行いたく入会しました。

大垣忠央さん



02

Zenrin USA, Inc.

DATA

住所：1350 Bayshore Hwy., Suite 580, Burlingame, CA 94010
 ☎ 650-615-4200
 FAX：650-389-7679
 Web：www.zenrin.com
 責任者：大垣忠央 (CEO)
 従業員数：14人
 他の営業拠点：ミュンヘン（ドイツ）、日本

Zenrin USA, Inc. は、1996年に地図会社ゼンリンの米国支店としてスタート。現在は、北米の高速道路ジャンクションの案内図、レストラン情報、地図上に表示するナショナルブランドのアイコンなど、カーナビ向けリッチコンテンツをアメリカで現地調査・制作・販売している。最近では、北米に居住する2億人分のコンシューマーデータを扱い始め、年収や嗜好を絞り込んだ個人や企業の担当者向けにe-mail、もしくは、郵送による広告配布などのダイレクトマーケティングビジネスも行っている。

IACE TRAVEL

法人のお客様へ

日系旅行会社唯一の

安心24時間365日

日本語サポートサービス!

ロサンゼルス支店 310-323-5551

ウェストLA支店 310-445-1401

オレンジカウンティ支店 714-557-7772

サンディエゴ支店 866-924-4223

クルーズ課 877-224-4223

北米予約センター **1-877-489-4223**

トールフリー ヨヤク IACE

www.IACE-USA.com

オンラインではできない
キャンセル待ちのリクエストも可能!

1/2 月のJBAイベントカレンダー

1/19 (土) スーパークロス観戦 オレンジカウティ地域部会	1/20 (日) 植樹ボランティア サウスベイ地域部会	1/23 (水) 賀詞交歓会 企画マーケティング部会
2/2 (土) 「日系アメリカ人リーダー招聘プログラム」社行ディナー 商工部会	2/10 (日) マジックキャッスル訪問 ダウンタウン地域部会	2/15 (金) 特別経済セミナー 企画マーケティング部会
2/17 (日) 「ジェネシスオープン」観戦 ダウンタウン地域部会	2/24 (日) クッキングクラス オレンジカウティ地域部会	2/27 (水) JBA 58th Anniversary Reception 商工部会



JBA の年 1 回の締めくくりの総会です。ぜひご出席ください。

※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。

新入会員

ZENRIN USA, INC.

1350 Bayshore Highway, Suite 580, Burlingame, CA 94010

☎ 650-615-4200

スタート・パシフィック

日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

海外への進出企業を一括サポート

もちろん、個人の住宅もサポート

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールド・トランスにご致します。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本でのお住い探しもご相談下さい。

- ロサンゼルス店:
TEL (310)782-7877
1219 El Prado Ave., Torrance, CA 90501
info@startsla.com
www.starts.co.jp/la
- ニューヨーク店:
TEL(212)599-7697
www.startsnewyork.com
- サンJose店:
TEL(408)380-2499
www.starts.co.jp/sanjose

- スタートコーポレーション株式会社:
TEL (03)6202-0111(代表)
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10
スタート八重洲中央ビル
www.starts.co.jp
- ハワイ店:
TEL(808)947-2280
www.startshawaii.com
- ダラス店:
TEL(646)708-6194
www.kaigai.starts.co.jp/dallas

パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム 米国駐在員のための金融サービスパッケージ

- ・渡米前に日本からの口座開設が可能
- ・便利な日本語コールセンター (Union Bank[®]*1・ジャパニーズ・カスタマーサービスユニット)
- ・ご帰国後の口座管理にも便利

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669** (フリーダイヤル・日本時間にも対応)までお問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group

*1 法人名の邦訳：ユニオンバンク

©2018 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC.

Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. Visit us at unionbank.com/japanese.